

クマガイソウ ラン科  
*Cypripedium japonicum* Thunb.

鳥取県：絶滅危惧I類(CR+EN)

環境省：絶滅危惧II類(VU)



県内 2010.5.10/撮影：永松 大

■**選定理由**：個体がかたまって集団をつくるが、絶滅してしまった場所が多く、県内での自生地は数えるほどしかない。場所が知られると採取されるおそれが非常に高い。

■**特徴**：スギ林下に生育する多年生ラン科草本。地下茎が横走り、長期的な栽培は困難。高さ30 cmほど、大型で扇型の葉を2枚つける。大型の袋状唇弁が特徴的。5月頃横向きにぶら下がるように咲く。集中的にモニタリングを行っている3自生地のうち、1カ所では最近5年間衰退傾向が続いている。スギ林の手入れ不足も、本種の衰退に関係しているものと考えられる。モウソウチクの繁茂が影響している自生地もある。

■**分布** 県内：非公開。県外：北海道，本州，四国，九州。

■**保護上の留意点**：自生地の急激な環境変化を避ける。採取防止。

■**特記事項**：国立・国定公園採取禁止指定種，鳥取県条例採取禁止指定種

■**文献**：53。